

2008 年 シオノギ創薬イノベーションコンペ (FINDS: ファインズ) 実施のお知らせ

塩野義製薬株式会社(本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功)は、シオノギ創薬イノベーションコンペ (FINDS: PHarma-INnovation Discovery competition Shionogi) を実施し、研究者の皆様から独創的なアイデアを公募いたします。

当社は、「常に人々の健康を守るために必要なよい薬を提供する」という基本方針のもとに、多くの人々に優れた医薬品を提供し続けてまいりました。今後もこの目的を達成するためには優れたシーズを発掘して、それを実用化に向けて開発していかねばならないと考えております。

このシオノギ創薬イノベーションコンペは、当社が必要とするニーズを提示し、独創的なシーズをお持ちの日本国内の研究者の皆様からアイデアをご提供いただき、共に実用化に向けて取り組んでいこうとする産学連携の新たな取り組みで、2007 年度から実施しております。

この取り組みにより、創薬シーズや基盤技術の収集、探索を強化し、グローバルに貢献できる新薬の継続的な創製に取り組んでまいります。

<概要>

1. 募集期間：2008 年 6 月 2 日(月)から 6 月 30 日(月)
2. 募集内容：14 課題 【別紙参照】
3. 選考方法：第 1 次審査、第 2 次審査の 2 段階で実施。
 - ・第 1 次審査：HP より応募いただいた中から 30～50 件程度に絞る。
 - ・第 2 次審査：原則として秘密保持契約書を締結し、詳細な研究計画を書面で提出いただき、10 件程度を採択する。
4. 選考基準：弊社ニーズとのマッチング、研究の独創性、合理性、産業化の可能性及び弊社プロジェクトとのコンフリクトなどを鑑み決定する。
5. 研究費：1 件あたり 200～500 万円を予定。(奨学寄附金ではありません)

なお、募集要項等の詳細につきましては、「2008 年シオノギ創薬イノベーションコンペホームページ」に掲載しておりますのでご参照ください。

<ホームページアドレス <http://www.shionogi.co.jp/finds/>>

以 上

[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報室 大阪 TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596
東京 TEL：03-3406-8164 FAX：03-3406-8099

募集内容 <14課題>

メタボリックシンドローム治療薬の創薬シーズ

糖尿病、糖尿病合併症、肥満、脂質代謝異常、動脈硬化に対する新規創薬標的分子の提案、およびその生理機能とヒト病態における役割の解明、新規病態モデルの作成アイデア、新規治療薬スクリーニング法の構築、その他創薬に応用できるアイデアを募集します。

アレルギー治療薬の創薬シーズ

Th1/Th2バランスの改善、IgE 産生阻害、免疫療法など、免疫機能の調節によりアトピー素因改善薬として期待できる研究テーマを募集します。

ペプチド・蛋白医薬の創薬シーズ

感染症、疼痛、メタボリックシンドローム、アレルギー領域に関するペプチド・蛋白質、またはその改良で医薬品になる可能性がある候補分子の提案、及びこれらの領域に関する診断マーカー候補の提案を募集します。

次世代先端医薬品につながる創薬技術の新規提案

抗体医薬、核酸医薬(リボザイム、siRNA、RNA アプタマー)にかわる革新的先端医薬品開発のためのプラットフォームテクノロジーのアイデアを募集します。既存の医薬品にない独創的なものを創生するアイデアに限ります。ただし、遺伝子治療、再生医療、細胞治療は除きます。

組み換え蛋白質の効率的な大量発現方法

目的蛋白質の大量発現を可能にする新規発現ベクター、遺伝子導入法、蛋白質発現系、蛋白質合成系に関する技術開発(特に動物細胞での発現)に関する研究テーマを募集します。

ハイスループットスクリーニングなどに適応可能な新規アッセイ技術

ハイスループットスクリーニングに適応可能な、新規の酵素活性検出法、相互作用検出法、遺伝子変動解析法、細胞イメージングのための分子プローブ・センサー、病態を反映し動物実験を代替するような in vitro 薬効評価法(siRNA や化合物のスクリーニング・アッセイなどに利用)に関する研究テーマを募集します。

蛋白質の特異的な修飾法

蛋白質の特定アミノ酸を PEG や糖鎖などで効率的に修飾する方法に関する研究テーマを募集します。

蛋白質-蛋白質の相互作用解析

蛋白質-蛋白質間の相互作用をシミュレーションする技術に関する研究テーマを募集します。

蛋白質のリフォールディング予測

蛋白質のリフォールディング方法を高精度で予測・推測する技術に関する研究テーマを募集します。

ペプチド合成やライブラリー化合物合成に関する新技術

ペプチドライブラリーの構築方法および生理活性ペプチドデザインに関する新規アルゴリズム。低分子化合物では、微量(<1mg) 或いは多検体(>300 個) サンプルを合成できる自動合成技術や手法に関する研究テーマを募集します。

新規生物活性低分子の創製に関する技術

既存の生物活性化合物をベースにした構造ホッピングのための方法論やそれに関連するデータベースやアルゴリズムに関する技術に関する研究テーマを募集します。

修飾改変ペプチド・蛋白質の薬物動態や抗原性を予測する技術

修飾改変ペプチド・蛋白質の薬物動態(経口吸収性、BBB 透過性など) 或いは抗原性を高精度で予測・推定する技術に関する研究テーマを募集します。

全身暴露を目的とする新たな経皮投与技術

これまで経皮投与が困難とされていた低分子化合物、ペプチド、核酸および抗体などの全身暴露を目的とする新たな経皮投与技術の開発に関する研究テーマを募集します。

ペプチド・蛋白質医薬の非注射投与技術

ペプチド・蛋白質医薬を非注射投与可能にする原薬改良または製剤改良技術のアイデアを募集します。